

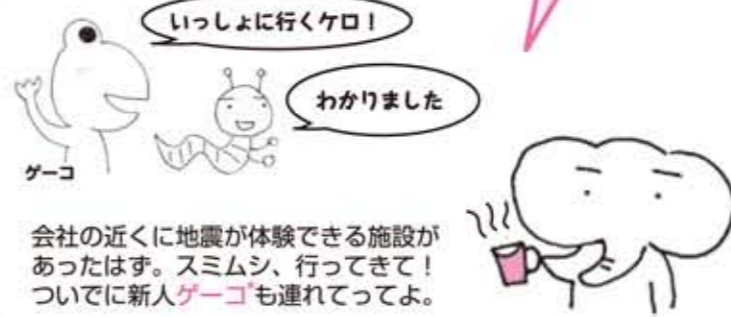
突撃
レポート

スミムシが行く！

教育図書の新入編集者スミムシが、先輩編集者としょぞうの指令を受けて、家庭科に関わるさまざまなことをレポートします！



指令！
新しい年の始めだねー。
今回は「安全で安心な家庭生活」をテーマに、
授業で役立つ情報を集めてきてよ！



会社の近くに地震が体験できる施設があったはず。スミムシ、行ってきて！
ついでに新人ゲーコも連れてってよ。

ここに行きました！



池袋防災館

東京都豊島区西池袋2-37-8
TEL 03-3590-6565
開館時間 9:00~17:00
利用料 無料

▲池袋防災館キャラクター「いけぞう」

学生や会社の研修など、たくさんの方がいました。このような施設は全国にあるので、訪れてみるとよいかもしれません



疑似消火体験。消火器の使い方を学び、水の入った体験用消火器で訓練をします



震度6以上の揺れを体験でき、地震の時に必要な行動を学習することができます。

東京消防庁の「池袋防災館」は、地震・消火・煙・救急の4コーナーで体験しながら学習し、防災に対する知識や技術、行動力を身につけることができる施設です。
地震体験では、各地で実際に起こった地震をコンピュータで作り出し、体験することができます。地震が起きたら「すばやくテーブルの下

どに隠れ、テーブルが動かないように脚を持つ。この時、直下型のような縦揺れの場合はテーブルが浮くため、手を挟まれることがないように上の方を持つ」など、知らないことがたくさんありました。他にも、煙の特性を知るコーナーや救命救急を学んだり、勉強になる施設でした。

*ゲーコ 教育図書歴6か月。某栄養系大学出身の新人編集者！

もしも地震が起きたら…防災のポイント

1. すまいの安全

家は、日常生活を営むための大切なステーションであると同時に、災害の際、シェルターの役目も担います。いざという時、「子どもや高齢者がスムーズに避難できるか」などを考えて、改善しておくことが大切です。

【オススメ教材】

□ 乳幼児実物大パネル

幼児の実物大パネルを使い、避難する場合に危険な場所をチェックしてみよう？



2. 地域と防災

阪神・淡路大震災の時、第一次被害の後に立ち直っていく共同体は、普段から隣近所がいざつをし、暮らしていた町でした。助け合う、声をかける、ご近所の事情を知っている。そうしたことが、大きな力になりました。

【チェックポイント】

- 「家族」「近隣」「地域」とコミュニケーションが取れているか
- 近くのお年寄りや体の不自由な人を気にかけているか

3. 食の安全

被災すると、まずライフラインが止まります。懐中電灯などの非常持出品と合わせ、水や乾パンなど、3日分ほどの食料備蓄も忘れずに。また、泥水を浄水し飲み水にする「ストロー型浄水器」や、沸騰した湯（汚れた水も可）があればご飯が炊ける「ハイゼックス炊飯袋」（下の図み参照）など、防災用品は進化しているので要チェック！

ハイゼックス炊飯袋

お米と水と、沸騰したお湯があれば簡単にご飯が炊ける袋。今回は通販で100枚入り1,260円で購入。ポリプロピレン製



【ハイゼックス炊飯袋を使ってみました】

□ 使用法

袋に書かれた線まで、米と水を入れます。空気があまり入らないよう、口を輪ゴムでしばり、沸騰したお湯に20分。その後15分ほど蒸らしたら完成です。



□ 感想

一袋で、お茶碗約2杯分のご飯を炊くことができました。とても便利で簡単。気になる味は「長時間保温したご飯」といった感じでした。



としょぞうの感想

防災といえば、燃えにくい素材のエプロンや腕カバーを作りたくて、布を買いにいったら、カーテン用の防火生地しか売ってなかったよ。家庭科の実習にもいいかな～と思ったんだけど…ざんねん！



ゲーコの感想

阪神・淡路大震災を経験しているゲーコ。被災時にも実感しましたが「地域のコミュニケーション」はとても大切です。これは、高校の新指導要領でも言われていることなので、家庭科でしっかりと勉強したいところです！



スミムシの感想

帰って、スミムシの巣を防災チェック！すると、家のいたるところに危険なポイントを発見…。さっそくホームセンターに行って家具転倒防止棒を購入して取り付けました。これで心おきなく冬眠できるぞ！



▲食器棚上部

「ハイゼックス炊飯袋」を学校で使ってみよう先生は「toshozo@kyoiku-tosho.co.jp」までメールを！
開封済みでよろしければ、お送りいたします。（先着10名様）